

平成 31 年 2 月 21 日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 山 口 銀 行

建築家 三分一博志氏との協働による地域活性化への取組みについて

山口フィナンシャルグループ（社長 吉村 猛）と子会社である山口銀行（頭取 神田 一成）は、山口県出身の建築家である三分一博志氏と協働し、山口銀行錦帯橋支店の再生を通じ、山口県を代表する観光地岩国市の錦帯橋を中心とした地域活性化に取り組むこととなりましたのでお知らせいたします。

1. 背景と課題

築 84 年が経過した錦帯橋支店は山口銀行の店舗の中でも最も古く、錦帯橋へと続く大明小路沿いの城下町中心として永く地域住民に親しまれてきた。一方で、近年地域の高齢化や過疎化が進む観光地の銀行店舗として、次世代型の地域貢献が求められている。

2. 目的と構想

新たな錦帯橋支店は、既存の銀行建築を活かしたアートスペースや、地域住民と観光客が交流する憩いの場としての再生を検討する。また、錦帯橋の世界文化遺産登録へむけての推進の後押しと、錦川流域の木材を使用し、錦川流域の活性化・森林再生も視野に入れる。また、近年の豪雨被害による防災意識の高まりから、錦帯橋支店を三分一氏の「井戸端プロジェクト」の一環と位置づけ、既存のインフラに頼らない災害時の防災拠点としても地域貢献を目指す。山口銀行錦帯橋支店では、店舗再生のパイロットモデルとして、観光交流防災拠点としての新たな地方創生の概念を提案する。

*三分一博志(建築家)

1968 年山口県生まれ。主な作品と受賞歴に犬島精錬所美術館(岡山)で日本建築学会賞と日本建築大賞をダブル受賞。直島ホール(香川)で2度目の日本建築学会賞受賞。その他、三輪窯(萩)、宮島弥山展望台(廿日市)、六甲枝垂れ(神戸)、おりづるタワー(広島)、日本・デンマーク外交関係樹立 150 周年記念建築展「The Water」(デンマーク)など。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

総合企画部 曾木・加納

TEL (083) 223 - 4453